

はじめに

- ご購入いただきありがとうございます。
取付けにあたっては、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取付けを行ってください。
●この説明書に従って作業を進めてください。お読みになった後も大切に保管してください。
●取付け作業の説明でおわかりになりにくいところがありましたら、購入店または下記当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

- ご注意**
1. 一部車種によってはシートベルトの取り外し、取付けがあります。取付けの際は車両側の規定トルクで締め付けてください。詳しくは販売店または自動車ディーラーにご相談ください。
2. 車種グレードによっては純正取付キットが必要となります。詳しくは販売店にご相談ください。
3. 取付け作業の際にスピーカーを裏向きに伏せて置くとスピーカーが壊れる恐れがあります。ご注意ください。
4. 車種グレード年式によっては車両の一部に変更がある場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

■必要工具

⊕ドライバー、⊖ドライバー、クリップリムーバー、プライヤー、ニッパー、ビニールテープ、レンチ(TONE社 MODEL 800Mなど)、カッターナイフ、電動ドリル、ヤスリ

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について	修理に関するご相談
<p>●保証書 この製品には、保証書を添付していません。保証は、お買い上げ日を証明できるもの提示が必要です。領収書などを大切に保管してください。</p> <p>●保証期間 お買い上げの日より1年です。</p>	<p>修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。</p> <p>修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスにお持ちください。なお、保証期間の外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けた場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。</p> <p>●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。) 技術料： 部品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。 部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</p>
<p>●保証期間経過後は… お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。</p> <p>●補修用性能部品の保有期間 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。</p> <p>●持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。</p>	<p>お買い上げ店名 _____ 年 月 日 _____</p>

株式会社 JVCケンウッド

- 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
●商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87(固定電話からはフリーダイヤル) / 0570-010-114(携帯電話、PHSからはナビダイヤル) / 045-450-8950(一部IP電話など)
FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜:9:30～18:00、土曜:9:30～12:00、13:00～17:30 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
●修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html) または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内
お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
https://jp.my-kenwood.com

安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

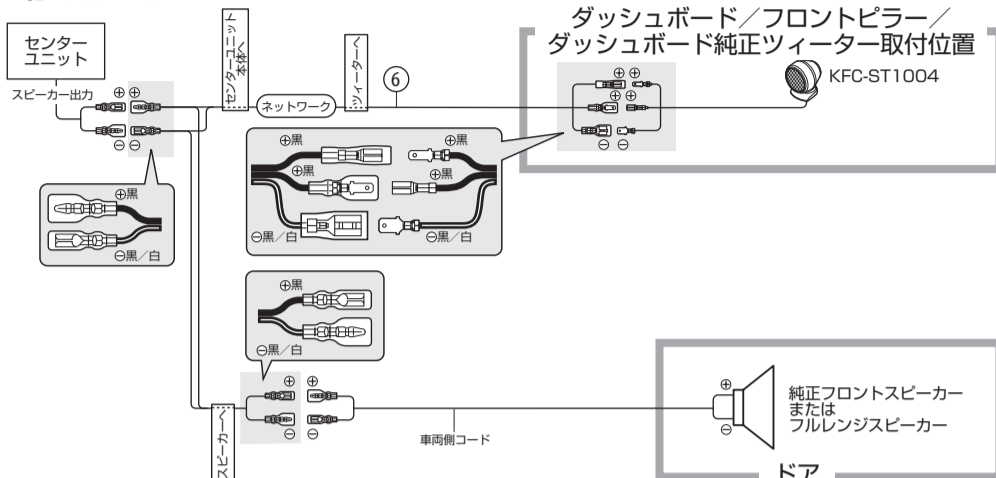
警告	注意(しなければならない)の内容です。
禁止	禁止(してはいけない)の内容です。
実行	実行(かならず行っていただく)の内容です。

■接続のしかた

- ⚠ ネットワーク付コードは必ず付属のものを使用してください。使用しない場合は破損の恐れがあります。
- ⚠ 使用しない端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。
- ⚠ バッテリーのマイナス端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

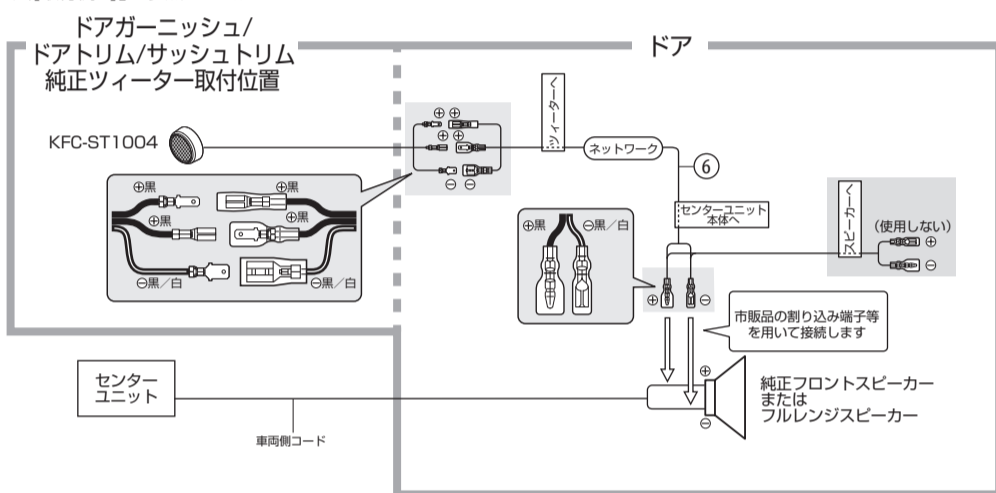
- 【接続例1】市販のセンターユニットからネットワーク/ツイーターの配線をする(ダッシュボードおよびダッシュボード純正ツイーター取付位置へ取り付ける場合)

「取付例A:ダッシュボードへの取り付け(アングルマウント)」および「純正ツイーター取付位置への取付方法【取付例C】」を参照してください。



- 【接続例2】ウーファー部からネットワーク/ツイーターの配線をする(ドアガーニッシュおよびドアトリム純正ツイーター取付位置へ取り付ける場合)

「取付例B:ドアミラー部への取り付け(サーフェスマウント)」および「純正ツイーター取付位置へのツイーター取付方法【取付例C】」を参照してください。



ご注意: 接続は、接続例を参照して ⊕ ⊖ の極性に注意して接続してください。

取り付けや配線について

警告

- ❗ **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
包装用ビニール袋はかたづけ
製品の包装に使われているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にかけたづけしてください。かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。
- ⊘ **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてはいけない**
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やけがの原因となります。
- ❗ **説明書に従って取り付け・配線をする**
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。
作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をするとショート*による感電やけがの原因となります。
作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。
工具は寸法が合ったものを使用する
ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。
コードは正しく接続する
スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。車体に直接ねじ止めをしたり、スピーカーコードの⊖側を共通にして接続すると、破損、火災の原因となります。
必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

取り付けや配線について

警告

- ❗ **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**
断線やショート*により、火災や感電、故障の原因となります。
電源コードの被覆を切った配線はしない
電源コードの被覆を途中で切って、他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。ショート*が起り、火災の原因となります。
コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショート*による火災や感電、故障の原因となります。
取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

- ⊘ **直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けられない**
機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- ⊘ **水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けられない**
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ❗ **コードの扱いに注意する**
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショート*により、火災や感電、故障の原因となることがあります。

*ショート
電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード(電気配線)が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

使用方法について

警告

- ⊘ **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのとは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- ⊘ **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
異常な音を出し続け
スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。発熱し、火災の原因となります。また聴力に悪い影響を与えることがあります。
機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショート*による火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。
故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
運転者は走行中に操作しない
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

注意

- ⊘ **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
上に乗らない、物を載せない
製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。また、製品の上に物を載せないでください。こわれたり、取り付けが弱くなったりして、けがの原因となります。
上に飲料水などの入った容器を置かない
製品の上に、コップに入った飲料水など液体が入った容器を置かないでください。液体がこぼれ製品の中に入ると、感電や火災などの原因となります。

異常時の問い合わせ

警告

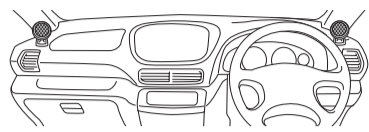
- ❗ **異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス窓口にご相談する**
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

■ 付属品 ● 本機には下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

①	タッピングねじ...4 (φ3×12mm)	③	両面テープ.....2	⑤	ブラケット.....2	⑥	ネットワーク付コード.....2
②	スピードナット...4 (φ3)	④	取付金具.....2				

■ 取付例

● 取付例A: ダッシュボードへの取り付け (アングルマウント)



※ 運転席側のツイーターは助手席方向へ向け、助手席側のツイーターは運転席方向へ向けて配置します。

▲コードをはさまないようにご注意ください。
▲エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。

● 取付例B: ドアミラー部への取り付け (サーフェスマウント)



※ 車種によってはドアミラー部へ取り付けできない場合があります。
※ アングルマウントでの取り付けは行わないでください。

● 取付例C: 純正ツイーター取付位置への取り付け

右の「純正ツイーター取付位置への取付方法」をご覧ください。

■ 取付方法【取付例 A】【取付例 B】

● 作業をする前に

- 穴加工前に、化粧箱の型紙(内フラップにあります)で取り付け場所を確認してください。
- 雑音防止のため、車両側の電装系コード、高電流コード、その他の雑音源から離して配線してください。
- ショート防止のため、可動部品、シャープエッジ等から離して配線してください。
- 配線が終了するまで、車を始動しないでください。またセンターユニットの電源を入れないでください。

● 取付手順

- 取付例を参考にし、取付場所を決めます。
- 型紙を用いてフェルトペン等で抜穴のマークを付けます。
- マークに沿って、スピーカーコード用穴とねじ穴をあけます。
- 両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。
- 切り取った両面テープと取付金具あるいはツイーターを分解して外した取付金具を①タッピングねじあるいはツイーターを分解して外したタッピングねじと②スピードナットを用いて所定の位置に取り付けます。

● 取付例A: アングルマウント(ツイーターの角度調整が可能です)

1 取付場所を決める

2 穴を開ける

3 ③両面テープを切り取る

■部分を切り取ります。

※ アングルマウント時、スタンドの一部分よりスピーカーコードを引き出すことができます。

ツイーター底面

スピーカーコード

突起

※ スタンド裏面前方の溝と④取付金具前方の突起を合わせ、ツイーターを前方から後方へ押しつけて取り付けます。

4 ツイーターを取り付ける

スタンド

①タッピングねじ

④取付金具

突起

③両面テープ

②スピードナット

● 取付例B: サーフェスマウント(ツイーターの角度調整はできません)

1 取付場所を決める

2 穴を開ける

3 分解する

スタンド

ツイーター本体

化粧パネル

タッピングねじ

取付金具

4 ③両面テープを切り取る

■部分を切り取ります。

5 ツイーターを取り付ける

③両面テープ

分解して外した取付金具

ツイーター本体

化粧パネル

ガイド

①または分解して外したタッピングねじ

②スピードナット

※ ツイーター本体の溝と化粧パネルのガイドを合わせ、化粧パネルを押し付けながら右に回転させて取り付けます。

■ 純正ツイーター取付位置への取付方法【取付例 C】

※ 車種によっては純正ツイーターと交換することができます。詳しくは当社ホームページの車種別取付情報の「ツイーター純正位置取付方法」をご覧ください。

● 取付手順

- 純正ツイーターをガーニッシュやツイーターグリルから取り外します。
- 左の「取付方法」の「取付例B: 3」を参照し、ツイーターを分解します。
- 車種に合わせて⑤ブラケットを加工します。(加工しない車種もあります。)
- ③両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。
- 加工した⑤ブラケットにツイーター本体をはめ込み、切り取った③両面テープを貼り付けて、所定の位置に取り付けます。

1 ⑤ブラケットを加工する

2 ③両面テープを切り取る

トヨタ車・三菱車の場合:
車両側取付部に■部分の突起が当たる場合には、その部分を切り取ってください。
ホンダ車の場合:
加工の必要はありません。

■部分を切り取ります。

3 ツイーター本体を組み立てる

⑤ブラケット

③両面テープ

穴

凸部

ツイーター本体

⑤ブラケットの穴とツイーター本体の凸部を合わせます(3カ所)。

● トヨタ車への取付例

● ホンダ車への取付例

ツイーター本体

端子

⑤の突起(3カ所)

ツイーターグリル

穴(3カ所)

切り欠き

純正ツイーター取付部の爪がツイーター本体の段差に引っかかるようにはめ込みます。配線は付属の⑥ネットワーク付コードを使用し、フロントスピーカーから引き回します。車種によっては純正スピーカーに配線している4ピンコネクタを配線し直す必要があります。

ツイーター本体の端子を純正ツイーター取付部の切り欠きに合わせ、純正ツイーター取付部の穴に⑤ブラケットの突起がはまるようにはめ込みます。配線は付属の⑥ネットワーク付コードを使用し、「接続のしかた」を参照して引き回します。

● 三菱車への取付例

サッシュトリム

ツイーター本体

純正ねじ

車両側ブラケット

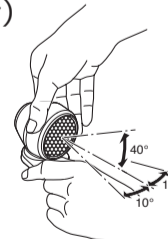
ツイーター本体を車両側ブラケットの表側からはめ込みます。取り付けした車両側ブラケットを純正ねじにて純正ツイーター取付部に戻します。配線は付属の⑥ネットワーク付コードを使用し、フロントスピーカーから引き回します。

※ 車両側のはめ込み部位がゆるい場合には結束バンドや接着剤等で補強します。

ご注意
スピーカー、スピーカーコード、ネットワークがガラスなどに接触しないように取り付けてください。

■ 角度の調整(アングルマウントの場合)

本製品は取付後でも音楽などを楽しむために最適な角度に調整することができます。図のような方法で、ゆっくりと向きを変えて左右の音のバランスがちょうど良くなる角度にします。



ツイーターの台座を押さえながら、もう片方の手で上下左右方向へ回転させます。
※ 無理な角度に調整しないでください。
※ 台座を押さえずに回転させると、ツイーターが取付金具から外れる場合があります。
※ 頻りに角度調整を行ったり、無理な力で動かすと、調整された角度を保てなくなる場合があります。

▲ 使用しない端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。
▲ 使用時や直射日光下ではツイーターが高温になります。やけどの危険がありますので十分に車室内を冷却してから調整を行ってください。

「ツイーター純正位置取付方法」のご案内

● 車種によっては純正ツイーターと交換することができます。詳しくは当社ホームページの車種別取付情報の「ツイーター純正位置取付方法」をご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/car/>

Hi-Res AUDIO

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

ハイレゾ品質で音楽をお楽しみになる場合はプレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。